

知事記者会見

今後の新型コロナウイルス 感染症への対応について

令和4年7月28日

県内の感染状況等について

※病床使用率は医療圏毎に以下の数値に基づき算出

上段…緊急時病床数:570床(長崎:208床、佐世保:134床)

(下段)…最大確保病床数:451床(長崎:163床、佐世保:98床)

7/27公表時点

※R4.4.14～病床利用率の算定方法変更

県全体	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
病床使用率(※)	18.2% (23.1%)	19.3% (24.4%)	21.1% (26.6%)	24.2% (30.6%)	25.1% (31.7%)	27.7% (35.0%)	29.5% (37.3%)	32.1% (40.6%)	31.4% (39.7%)	32.5% (41.0%)	33.9% (42.8%)	36.0% (45.5%)	35.8% (45.2%)	38.9% (49.2%)	38.9% (49.2%)	41.8% (52.8%)	42.5% (53.7%)	45.1% (57.0%)
重症病床利用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
新規感染者数 (10万人/週)	592人 (266.6人)	295人 (274.5人)	849人 (297.9人)	861人 (322.6人)	897人 (351.1人)	830人 (372.0人)	912人 (399.1人)	841人 (418.1人)	568人 (438.9人)	526人 (414.3人)	1587人 (469.6人)	1615人 (524.3人)	1706人 (591.1人)	1561人 (640.5人)	1637人 (701.2人)	815人 (720.0人)	2029人 (834.6人)	2034人 (868.7人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	317.9人	321.5人	342.5人	364.3人	398.9人	431.7人	477.1人	508.8人	525.3人	541.2人	572.0人	621.3人	675.5人	767.3人	846.1人	845.0人	887.8人	980.1人

長崎市	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
病床使用率(※)	20.7% (26.4%)	21.2% (27.0%)	26.4% (33.7%)	32.2% (41.1%)	32.2% (41.1%)	37.5% (47.9%)	36.5% (46.6%)	39.4% (50.3%)	38.5% (49.1%)	38.5% (49.1%)	43.3% (55.2%)	45.2% (57.7%)	50.5% (64.4%)	52.4% (66.9%)	48.1% (61.3%)	49.0% (62.6%)	49.0% (62.6%)	51.0% (65.0%)
新規感染者数 (10万人/週)	139人 (233.4人)	102人 (239.8人)	217人 (260.3人)	262人 (289.9人)	238人 (313.1人)	213人 (327.5人)	267人 (351.5人)	199人 (366.2人)	161人 (380.6人)	110人 (354.4人)	506人 (414.1人)	377人 (488.0人)	587人 (539.5人)	370人 (564.6人)	532人 (646.0人)	283人 (675.8人)	550人 (783.4人)	661人 (821.3人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	227.1人	247.6人	245.9人	242.5人	267.6人	301.6人	346.1人	345.1人	370.1人	412.4人	385.0人	373.0人	441.7人	524.5人	648.7人	653.4人	699.3人	759.2人

佐世保市	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
病床使用率(※)	27.6% (37.8%)	26.9% (36.7%)	26.9% (36.7%)	26.9% (36.7%)	27.6% (37.8%)	31.3% (42.9%)	36.6% (50.0%)	40.3% (55.1%)	40.3% (55.1%)	41.8% (57.1%)	38.8% (53.1%)	40.3% (55.1%)	30.6% (41.8%)	37.3% (51.0%)	40.3% (55.1%)	44.0% (60.2%)	47.8% (65.3%)	50.0% (68.4%)
新規感染者数 (10万人/週)	107人 (305.9人)	44人 (315.3人)	211人 (340.4人)	205人 (376.2人)	204人 (413.2人)	222人 (455.1人)	155人 (472.0人)	195人 (508.2人)	91人 (527.5人)	59人 (465.0人)	309人 (507.8人)	369人 (575.6人)	355人 (630.3人)	339人 (705.9人)	312人 (754.0人)	116人 (764.3人)	527人 (956.7人)	416人 (1000.7人)
療養者数(10万人/日) (入院+宿泊+自宅)	364.3人	365.9人	400.9人	437.9人	478.2人	520.5人	583.0人	599.4人	602.3人	576.0人	597.4人	679.6人	694.4人	818.2人	847.0人	861.3人	875.3人	964.1人

		県レベル1	県レベル2-I	県レベル2-II	県レベル3	県レベル4
指標	病床利用率	—	20%以上 (114床以上)	35%以上 (199床以上)	50%以上 (285床以上)	100%以上 (570床以上)
参考指標	重症 病床利用率	—	—	—	50%以上 (20床以上)	100%以上 (40床以上)

入院医療の状況

7月27日公表時点の入院患者数と病床使用率(医療圏別)

※ 上段 … 緊急時病床数
(下段) … 最大確保病床数

医療圏	長崎	佐世保 県北	県央	県南	本土 計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院 患者数	106	67	27	32	232	2	8	7	8	257
病床数※	208 (163)	134 (98)	92 (69)	43 (35)	477 (365)	25 (23)	19 (17)	22 (21)	27 (25)	570 (451)
病床 使用率※	51.0% (65.0%)	50.0% (68.4%)	29.3% (39.1%)	74.4% (91.4%)	48.6% (63.6%)	8.0% (8.7%)	42.1% (47.1%)	31.8% (33.3%)	29.6% (32.0%)	45.1% (57.0%)
フェーズ	緊急1	緊急1	3	緊急1	—	2	2	2	2	—

●入院患者:重症1名、中等症・軽症256名

全感染者数:90,097名

●宿泊施設療養者:301名 ●自宅療養者:12,025名 ●調整中:0名

●回復者数:77,098名

(施設療養者:276名)

●死亡者数:140名(80代以上が7割超) ※うち、1月以降67名

レベル3以降のレベル判断の考え方

- レベル3以降の段階は、高齢者や基礎疾患をお持ちの方(以下「高齢者等」)の感染者数や入院者数の増加による病床ひっ迫に加え、医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーにも感染者が増加し、幅広く社会機能に影響が生じている状態
- そのため、より強い行動制限の実施を検討する段階にあるが、そうした対策は経済活動に大きな影響を及ぼすことから、レベル3以降のレベル判断にあたっては、**病床使用率や一般診療、福祉サービスへの影響等を踏まえ、総合的かつ慎重な判断が必要**
- なお、レベル3への移行にあたっては、国からも病床使用率により機械的に判断するのではなく、複数の指標や今後の見通し(社会機能の状況等)を踏まえ総合的に判断することが求められている

感染段階対応の目安の改定について

改定の趣旨

- ・現在の目安は、昨年11月、第5波をベースに国が示したレベル分類の考え方や必要な対策等を参考に策定したものであり、**重症化率や入院率など特性が大きく変化している第6波以降、レベルごとに講じる対策や参考指標に乖離が生じていることから、より実態に合った目安に改定**する(今後国においてレベル基準の考え方等が改定された場合は、必要に応じ目安を改定)

主な変更点

【感染段階レベル】

- ・基本的な感染対策が主となるレベル1～2-IIについては、「病床使用率」を中心に判断するが、より強い行動制限を要請する**レベル3・4への移行は、「病床使用率」に加え、社会機能の制限状況等も踏まえ慎重に判断**
- ・レベル0(感染者ゼロレベル)を廃止し、レベル1(維持すべきレベル)と統合
- ・ウイルスの特性により、新規感染者数の伸び幅や入院率、重症化率が大きく異なることから、現時点において、適切な指標を設定することが困難であり、参考指標である**新規感染者数・療養者数の指標を削除**するとともに、**重症病床使用率を参考指標**とする

【対策関連】

- ・コロナと共生し社会経済活動を維持する観点から、外出自粛などの**行動制限は原則、レベル3以降に要請**
- ・高齢者等の**重症化リスクの高い方を守る**観点から、**レベル2-IIにおいて高齢者等に対象を絞った要請を前倒しで実施**
- ・レベル判断に関わらず、各医療圏ごとに病床の逼迫状況(レベル相当)を可視化し、注意喚起を行う

新型コロナウイルス感染段階対応の目安

R4.7.28 改定

病床使用率や社会機能の制限状況等も踏まえ、移行を慎重に判断

指標	レベル1 (注意報)	レベル2 - I 警戒警報	レベル2 - II 特別警戒警報	レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
	レベルは県全体で判断				
病床使用率	—	20%	35%	50%	100%
社会機能の制限状況		—		一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	
参考指標 重症病床使用率		—		50%	100%

医療圏ごとに医療の逼迫具合を可視化したうえで
基本的な感染対策を呼びかけ

原則、県全体で行動制限を実施
経済への影響が大きい行動制限については
感染状況を踏まえ地域・医療圏ごとに実施

対策等

◎基本的な感染防止対策の実施

- ・会話時のマスク着用
- ・換気の実施
- ・三密回避
- ・手指消毒
- ・体調不良時の外出自粛
- ・会食時の認証店利用
- ・業種別ガイドラインの遵守
ほか

◎ワクチン接種の促進

◎感染に不安を感じている無症状者への検査要請

高齢者等の重症化リスクの高い方やそうした方と接する方に対象を絞り前倒しで実施

◎接触機会の低減に係る要請等
(リスクの高い場への外出自粛等)

まん延防止等重点措置・緊急事態措置の適用要請及び措置に基づく対策の実施

※ 上記はあくまでも目安であり、レベル判断及びレベルごとに講ずる対策、対策の対象地域等については、国の基本的対処方針やその時点の感染状況、医療提供体制の状況等に応じて、有識者の意見等も踏まえ総合的に判断する

※ 「病床使用率」や「社会機能の制限状況」の推移等によっては、対策の前倒し実施を検討する

※ 新規感染者数や療養者数については、指標の設定が困難であることから、指標とはしないものの、常に注視する必要がある

※ レベル判断に関わらず、各医療圏ごとに病床の逼迫状況(レベル相当)を可視化し、注意喚起を行う

感染対策のポイント

- 全国的に感染が拡大する中、本県でも2,000人を超える感染者が確認されるなど、感染リスクが非常に高まっています。
- 医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーの感染等により、社会機能にも徐々に影響が出始めています。これ以上の影響拡大を招かないためにも、県民の皆様には改めて基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。
- 特に高齢者等の皆様は、重症化するリスクが高いことから、ご自身を守るため、より慎重に行動していただくことが必要です。

- ①改めて基本的な感染防止対策(マスク着用や三密回避、手指消毒等)の徹底を
- ②冷房使用時も空気の通りを意識したこまめな換気を
- ③テレワーク等による出勤者の縮減や時差出勤の推進 (接触機会の低減にご協力ください)
- ④帰省時には、事前に検査による陰性確認やワクチン接種を (県外のご家族にお声がけください)

感染対策のポイント

— 高齢者等の重症化リスクの高い方を守るために —

- ① 高齢者等の皆様は感染リスクが高い場所等への外出を控えて
- ② 家庭における親戚の集まりなど、高齢者等を含む大人数での会食等は控えるか、事前検査を
- ③ マスク会食の不徹底などにより、感染に不安を感じる場合は、3日間は高齢者等との接触を控えて

1 県民の皆様へ

- 会話時のマスク着用や三密回避、手指消毒などの基本的な感染防止対策の徹底
- 熱中症対策には冷房を適切に使用することが重要ですが、その際にも空気の通りを意識したこまめな換気を徹底
- 会食の際は、認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、感染対策の徹底を
- 自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、ワクチン接種へのご協力を
- 体調が少しでも悪いときは、外出・登校・登園を控え、すぐに医療機関に電話で相談を
- 帰省時には、事前に検査による陰性確認やワクチン接種を

2 高齢者等の皆様を守るために

- 高齢者等の皆様は感染リスクが高い場所等への外出を控えて
- 家庭における親戚の集まりなど、高齢者等を含む大人数での会食等は控えるか、事前検査を
- マスク会食の不徹底などにより、感染に不安を感じる場合は、3日間は高齢者等との接触を控えて

3 事業者の皆様へ

- 基本的な感染防止対策の徹底
- イベント開催時の感染防止対策の徹底
- 認証店における認証基準の再確認
非認証店における積極的な認証取得
- テレワーク等による出勤者縮減、時差出勤の推進

4 県立学校

- 部活動における密集・接触する運動や県内外問わず他校との交流については、各学校において地域の感染状況に応じて慎重に判断

5 児童福祉施設等

- 基本的な感染防止対策(室内の換気、手洗い、消毒、検温、体調管理等)の徹底

6 介護・障害者福祉施設等

- 福祉サービス等の維持・継続、感染の早期収束を図るための支援を実施(DMAT、CovMATの派遣等)
- クラスタ発生時の保健所による現場指導

7 家庭内

- こまめな手洗い、定期的な換気
- 食べ物や飲み物、食器の共用は避ける

健康観察等のさらなる重点化

低リスクの方や無症状者の方は、体調悪化時に本人が連絡する方法に変更することで、**重症化リスクのある自宅療養者の健康観察等にさらに注力**する。

これまで

重症化リスク者



- ・65歳以上の高齢者
- ・基礎疾患のある方
- ・妊婦の方 など

保健所が電話やハリスで毎日健康観察



全員パルスオキシメーター配布

継続

さらなる重点化後

保健所や健康観察センター(看護師等)が電話やハリスで毎日健康観察



全員パルスオキシメーター配布

県は事前にショートメールで連絡先等をお知らせ

低リスク者・無症状者など



健康観察センター(看護師等)が電話やハリスで毎日健康観察



全員パルスオキシメーター配布

変更

症状悪化時のみ本人が窓口(健康観察センター)に連絡する。



希望者のみパルスオキシメーター配布

県保健所は7/29の健康観察から、長崎市、佐世保市は今週中に開始予定。

- ▶ ハイリスク施設・同居家族以外は濃厚接触者の特定を行っていません。
- ▶ 療養証明書は、スマートフォンなどでMy-HER-SYS(個人専用画面)にログインすると表示されます。保健所への申請は不要です。

濃厚接触者の待機期間の見直し

▶ 濃厚接触者の待機期間を短縮しました（7月22日～）

		0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
これまで	基本	感染者との接触日	→							○
	検査で陰性を確認						陰性①	陰性②		

○ 待機解除

		0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
新基準	基本	感染者との接触日	→					○
	検査で陰性を確認			陰性①	陰性②			

※ 医療・介護・障害者支援施設、保育所等の職員については、毎日の検査で陰性が確認できれば業務に従事することができます

県民の皆さまへ

医療危機を招かないために

- 入院患者の急激な増加に加え、医療スタッフの感染により、コロナ病床使用に制限が生じるだけでなく、**通院外来の制限**やコロナ患者以外の**入院制限**、**救急搬送の受入困難**など、一般医療への更なる影響が危惧されます
- **発熱患者**や**コロナ軽症・無症状患者**の方は、以下についてご理解をお願いします
 - **発熱患者**で緊急を要しない症状の方は、休日・夜間の受診を極力お控えください
 - ⇒ できる限り診療時間内の受診をお願いします
 - ⇒ 受診の際は、症状に応じて自家用車を利用するなど、救急搬送機能の維持にご協力をお願いします
 - **コロナ軽症・無症状**の方は、原則、入院以外(宿泊療養・自宅・施設等)での療養とします

本県の医療はひっ迫しつつあります ワクチン接種をお願いします

7月24日時点

《ワクチン接種の状況》

	本県の接種回数	接種率	
		本県	全国
3回目(全世代)	881,214回	66.0%	62.6%
4回目(60歳以上)	73,317回	13.8%	17.5%

- ▶ 2回目接種と比べ、3回目接種が伸び悩んでいます
(本県2回目接種率 81.3%)
- ▶ 全国に比べ4回目接種率も低い状況にあります
- ▶ 「**自らの健康**を守るため」、「**大切な人**を守るため」、そして「**本県の医療**を守るため」早めの接種をお願いします